

氏名	杉 江 拓 也
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2247号
学位授与の日付	平成13年3月31日
学位授与の要件	医学研究科社会医学系衛生学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	Early Neonatal Mortality, Low Birth Weight and Related Factors in Japan (日本における早期新生児死亡率、低出生体重及びその関連因子に関する研究)
論文審査委員	教授 清野 佳紀 教授 吉良 尚平 教授 工藤 尚文

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

我が国の早期新生児死亡率のさらなる低下に寄与すべく、著者は、同死亡率と低出生体重及びその関連因子について地域格差の点から解析を行った。解析に際しては、新たな指標として出生体重調整早期新生児死亡率及び出生体重分布期待早期新生児死亡率を提案し、医療提供体制に関する指標との相関を明らかにすべく統計学的解析を行った。粗早期新生児死亡率及び出生体重調整早期新生児死亡率は、低出生体重及び超低出生体重児特異的早期新生児死亡率と有意な相関があった。粗早期新生児死亡率及び出生体重調整早期新生児死亡率は主として低出生体重又は超低出生体重児特異的早期新生児死亡率に影響され、低出生体重児の発生頻度には影響されないことが示唆された。また、都道府県別産婦人科医師数と出生体重調整早期新生児死亡率に有意な負の相関を認めた。このことは各地域における周産期医療体制の充実が必要であることを示唆している。

### 論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、我が国の早期新生児死亡率のさらなる低下に寄与すべく、同死亡率と低出生体重及びその関連因子について地域格差の点から解析を行った。その結果、粗早期新生児死亡率及び出生体重調整早期新生児死亡率は、低出生体重及び超低出生体重児特異的早期新生児死亡率と有意な相関があった。粗早期新生児死亡率及び出生体重調整早期新生児死亡率は主として低出生体重又は超低出生体重出生児特異的早期新生児死亡率に影響され、低出生体重児の発生頻度には影響されないことが示唆された。また、都道府県別産婦人科医師数と出生体重調整早期新生児死亡率に有意な負の相関を認めた。このことは各地域における周産期医療体制の充実が必要であることを示唆している。この結果は価値ある業績である。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。